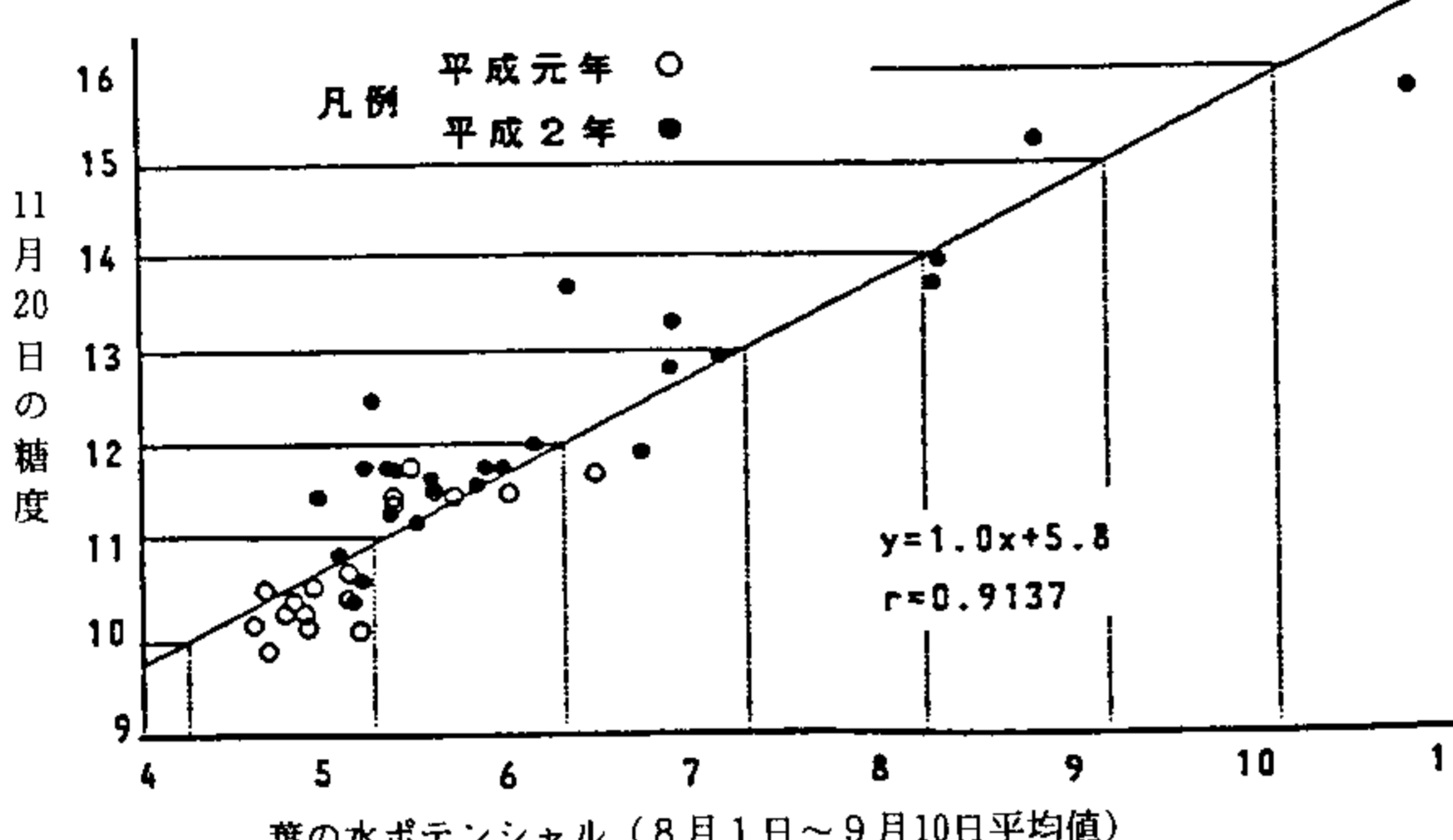


課題名	31. マルチ栽培樹の糖度上昇に効果的な土壌乾燥の時期
成果の要約	<p>フィルムマルチの時期が早すぎると果実の肥大が抑えられて、小玉果が多くなるし、遅すぎると糖度は高くなりにくい。そのため、糖度上昇に効果的な水分ストレスの時期を葉の水ポテンシャルと糖度との関係から検討した。</p> <p>(1) その結果、興津早生では8月1日から9月10日までの葉の水ポテンシャルが大きいと収穫時の糖度が高くなることがわかった。</p> <p>つまり、8月から9月上旬にかけて土壌を乾燥させることが糖度上昇に効果的といえる。</p> <p>(2) また、この時期に土壌が乾燥すると酸含量も高くなり、収穫時には糖度、酸含量とも高い果実になる。糖度は高く、酸含量は減少するような土壌乾燥の時期については今後の課題として残された。</p>
成績概要	 <p>凡例 平成元年 ○ 平成2年 ●</p> <p>11月20日の糖度</p> <p>葉の水ポテンシャル (8月1日~9月10日平均値)</p> <p>$y=1.0x+5.8$ $r=0.9137$</p> <p>図1 興津早生の葉の水ポテンシャルと果実糖度との相関</p>

成

績

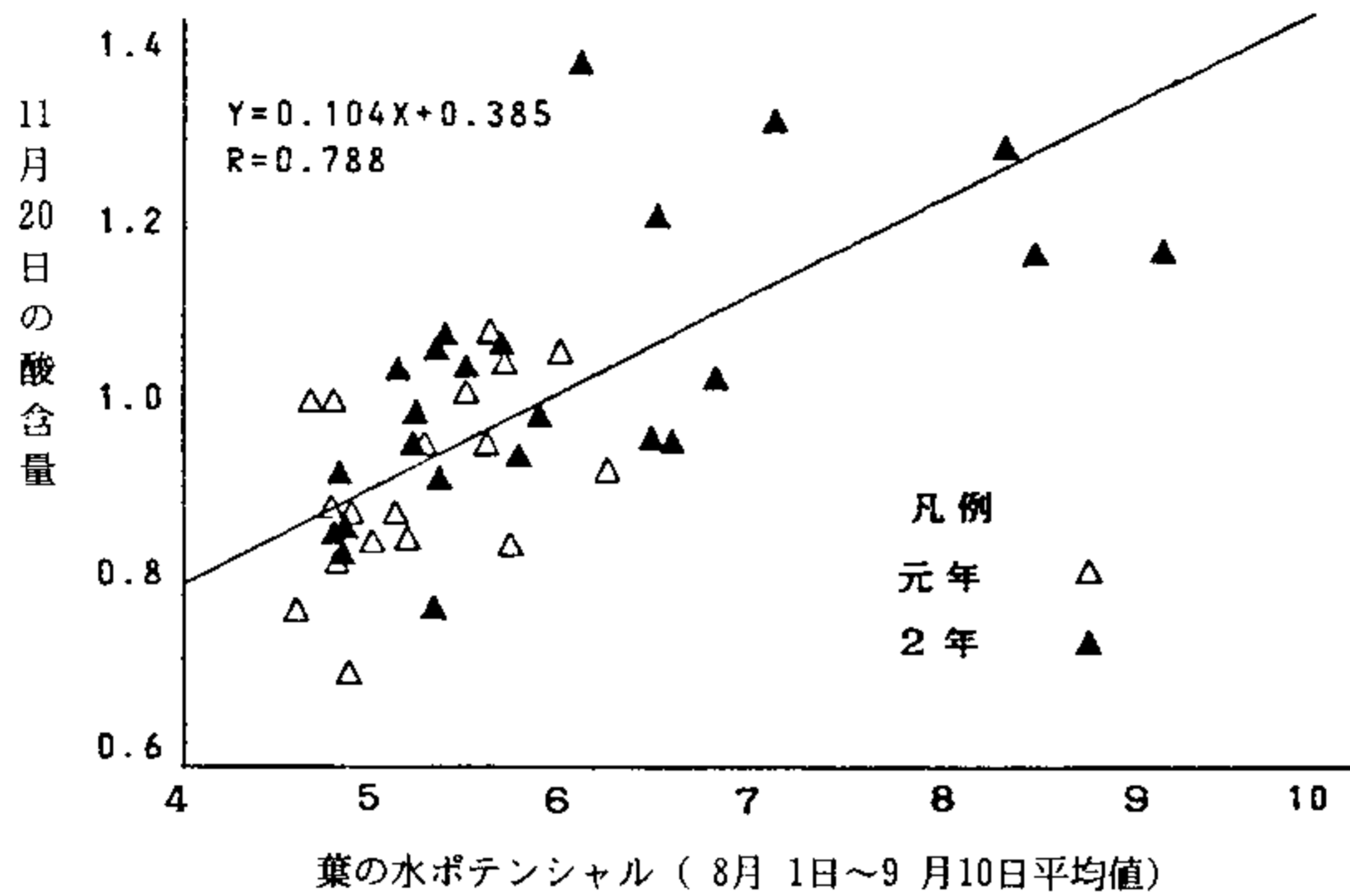


図2 興津温州の葉の水ポテンシャルと果実の酸含量との相関

概

要

(果樹試験場)

普及上の留意点

(1) 8月から9月上旬の土壌乾燥が糖度上昇に効果的だから、この時期までに荒摘果を済ませて果実肥大を良くしておいたがよい。